

高速増殖原型炉もんじゅ 性能試験(炉心確認試験)
実施状況

13:00現在

概要	未臨界度測定法適用性評価等を安全に実施している。	
プラント状態	異常なし。 原子炉停止中。 1次主冷却系流量 約10%(ポニーモータ運転) 1次主冷却系温度 約200℃ 2次主冷却系流量 約7%(ポニーモータ運転) 2次主冷却系温度 約200℃	備考
性能試験実施状況	<p>【昨日(7/18)の実績】 11:06 炉内中性子源効果評価開始 14:37終了 14:56 未臨界度測定法適用性評価開始 7/19 0:08終了</p> <p>【本日の実施状況】 9:07 未臨界度測定法適用性評価開始(24:00頃終了予定) 9:10 圧力損失変化評価開始 9:50終了</p> <p>【明日(7/20)の予定】 未臨界度測定法適用性評価(原子炉停止状態で、制御棒つかみ/はなしによる制御棒位置への影響評価)を実施する。 1次主冷却系循環ポンプコストダウン特性確認(原子炉停止時、1次主冷却系循環ポンプをトリップさせ、ポニーモータ引継ぎまでの流量減少の推移を確認する試験)を実施する。</p>	備考
その他	・制御用圧縮空気設備の警報の発報について(続報2)(別添資料)	備考

炉心確認試験工程

		15日(木)	16日(金)	17日(土)	18日(日)	19日(月)	20日(火)	21日(水)	22日(木)	23日(金)	24日(土)
性能試験工程	プラント操作を伴う試験						⑨1次主冷却系循環ポンプコストダウン特性確認				
		⑩未臨界度測定法適用性評価									
		⑫ナトリウム純度確認									
	プラント操作を伴わない試験	⑬ナトリウム放射化量評価									
		⑰圧力損失変化評価									
		⑱燃焼係数評価									
					⑲炉内中性子源効果評価						
				△ 原子炉停止					△ 炉心確認試験終了		



平成22年7月19日

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

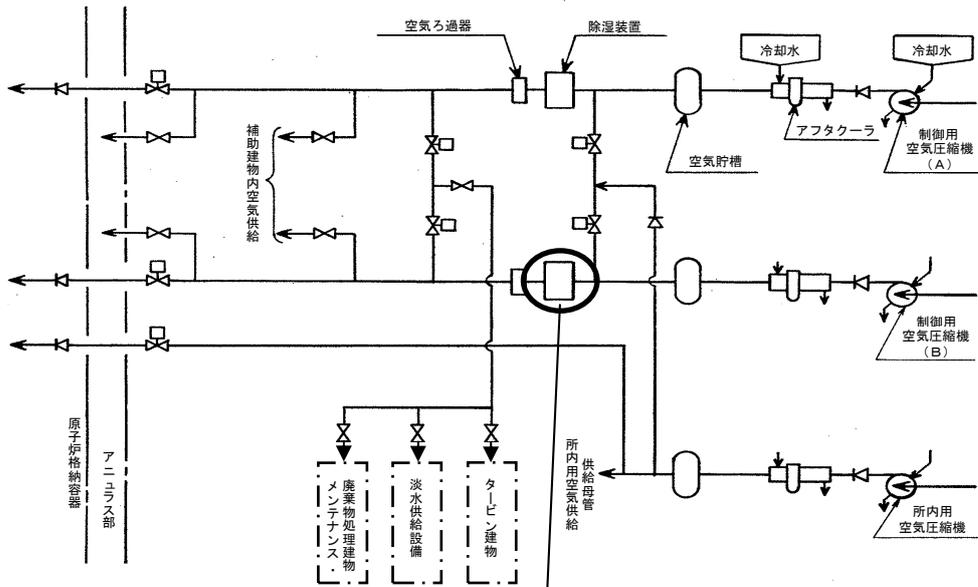
高速増殖原型炉もんじゅ
制御用圧縮空気設備の警報の発報について（続報2）

1. 発生日：平成22年 7月18日（日）21時12分
2. 発生場所：高速増殖炉研究開発センター
高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物（非管理区域）
3. 状況：
高速増殖原型炉もんじゅは、炉心確認試験中（原子炉低温停止中）ですが、制御用圧縮空気設備*¹Bについて、7月13日に除湿装置の切替え弁（四方弁）の動作が不良で警報が発報しました。【7月13日お知らせ済み】
その後、四方弁の交換を実施し、7月16日から20日までの予定で試運転を行っていますが、18日21時12分、「制御用圧縮空気設備B異常」の警報が発報し、現場盤では、「除湿装置B異常」「再生不良」の警報を確認しました。その後21時13分に警報はリセットしました。
圧縮空気設備の除湿装置*²には除湿塔が2塔（A塔及びB塔）設置されていますが、現場を確認したところ、除湿塔（A塔）が再生冷却を終了し、除湿運転に移行するタイミングで警報が発報していました。夏場の外気温度と冷却水温度の上昇により再生冷却に若干時間を要したため、一時的に警報が発報したものと推定しています。また、加熱器や冷却器等には異常がないことを確認しています。
なお、7月13日に発生した「再生不良」は、再生加熱時の温度の上昇に時間を要したものでしたが【7月14日お知らせ済み】、今回は、再生加熱後の再生冷却の工程で、冷却に時間を要したものです。
本事象による環境及び炉心確認試験への影響はありません。

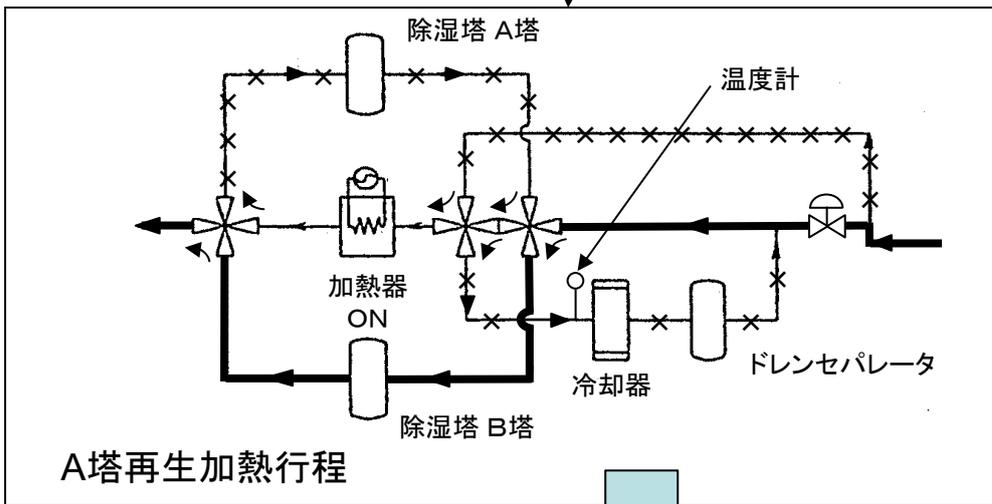
- *1：制御用圧縮空気設備は、原子炉建物、原子炉補助建物、タービン建物等の各建物内空気作動弁、空気式制御用機器及び計測機器等に清浄で乾燥した圧縮空気を供給する設備です。
- *2：圧縮空気設備は、2台の空気圧縮機と2台の除湿装置で構成され、除湿装置には2塔の除湿塔が設置されています。各除湿塔は、除湿運転（3時間）と再生加熱・再生冷却運転（3時間）を交互に繰り返します。

添付図：制御用圧縮空気設備系統図

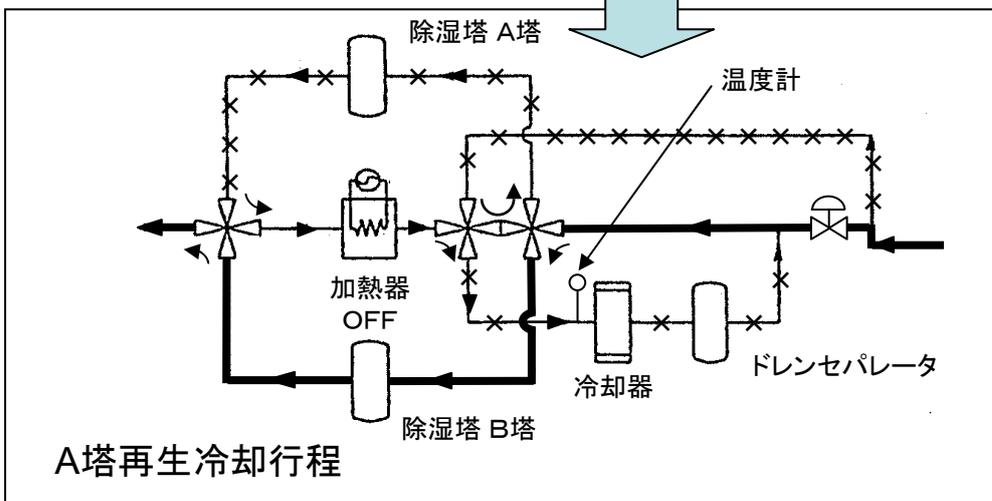
以上



制御用圧縮空気設備系統図



- ✳ 四方弁
- 除湿ライン
- - - 再生ライン



制御用空気除湿装置